



# 鴻巣西中通信

学校だより No.5

鴻巣市立鴻巣西中学校

鴻巣市大間1161番地

令和6年8月29日

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」

公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

## 教員のストレス 過大な業務量の削減が急務だ

表題は令和6年7月25日（木）の読売新聞「社説」の引用です。以下概要です。

- ・医師の面接指導を要する「高ストレス」の状態にある公立小中高校の教職員が過去最多の11.7%。
- ・ストレスの要因の多くは「事務的な業務量」。行事の準備や地域との連携会議や煩雑な書類の作成。国や教育委員会から求められる統計調査などへの回答。
- 各教委や校長がリーダーシップを発揮して、思い切った改革を進めてほしい。
- ・ストレスの要因に「保護者対応」を挙げる教職員が増えているのも見逃せない。夜間に来校して学校への不満を延々とまくし立てたり、教員を自宅に呼びつけて暴言を吐いたりする保護者もいる。
- 一度を超した要求やクレームには、組織として毅然と対応することも必要だろう。
- ⇒教員の本来の仕事は、子供たちの心身の健やかな成長を見守り、支えることである。

埼玉県では今年度末までに時間外在校等時間（いわゆる「残業」）を月45時間以内100%目標としています。（月80時間が過労死ライン）ちなみに中学校では休日の部活動の指導時間も含まれます。そもそも、国や県からの業務内容の縮小・削減も人的・物的措置の対応もない中で、「勤務時間外の在校時間を減らせ」というのは正直無理があります。まして本校でもそうですが、教員数が「定数」に満たない学校も多くある状態です。

さて、1学期を振り返ってみますと、放課後は昨年度にも増して、生徒対応及び保護者対応が多くありました。教員の放課後の業務といえば、職員会議、校内研修、学年会議、学校行事等の実行委員会、生徒会（委員会）活動、班長会議、週番点検、補習そして部活動の指導と下校見守り、続いて、欠席した生徒への連絡が終わると、やっと、提出プリントやノート点検、明日の授業の準備となります。各学年では、今日一日の振り返りや明日の予定の確認等を行います。ここに、生徒対応や保護者対応が加わります。一例を挙げてみます。

生徒対応 …不要物の持ち込み等生活の決まりの違反に対する指導。生徒間同士のトラブルに対する関係生徒からの聞き取りと指導。（SNS関係が増加傾向） 生徒からの相対に対する対応

保護者対応…上記の指導内容についての保護者への報告。（電話や場合によっては来校していただく。）

学校での出来事を保護者に話す生徒が本校は多いようで、「子どもからこんな話を聞いたが詳しく知りたい。」と問い合わせの電話があります。その際は、担当教員及び管理職から丁寧に状況を説明申し上げております。私たちはこれを保護者と連携を図れる良い機会と捉えております。

電話対応…①下校時生徒がいつも家の前でたむろして困っている。

②下校時道端でおしゃべりして帰ろうとしない。家族が心配しているのではないか。

③生徒の下校の状態が悪い。道いっぱい広がって歩いたり自転車で乗っていたりして危ない。注意してもへらへらして真剣に言うことを聞かない。教員を道に立たせろ。

2回目→教員が立っても良くなならない。保護者を立たせろ。

こう書き綴ってみますと大変なことばかりかと言いますとそうではなく私の理想とする学校経営方針の一つ、「教育談義で花が咲く職員室」があります。学年単位とはなりますが、一日の生徒の様子や活躍ぶりを振り返って学年職員が共有して笑い合っている様子はなんとも言えない温かさがそこにはあります。多忙さにかまけず、教員本来の仕事「子供たちの心身の健やかな成長を見守り、支え」てまいりますので、2学期も保護者の皆様並びに地域の皆様の本校教育活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

（校長 橋本 浩）